

第3回 野田市生物多様性のだ戦略市民会議

日時 令和2年9月15日（火）

午後4時00分から

場所 野田市役所2階中会議室

会 議 次 第

1 開会

2 委員紹介

3 会長挨拶

4 議題

（1）自然環境調査の実施について 【資料1-1、資料1-2】

（2）社会環境調査の実施について 【資料2-1、資料2-2】

（3）戦略策定に向けた今後のスケジュール（案）について 【資料3】

5 その他

6 閉会

【配布資料】

資料1-1 自然環境調査実施概要

資料1-2 「調査員会」による自然環境調査（2020-2021）実施計画（案）

資料2-1 社会環境調査実施概要

資料2-2 社会環境調査（アンケート調査）関連資料（案）

資料3 「生物多様性のだ戦略」策定に向けた今後のスケジュール（案）及び推進体制

野田市生物多様性のだ戦略市民会議

委員名簿

区 分	所 属	氏 名
学識経験者	東邦大学理学部 教授	長谷川 雅美
	東京理科大学理工学部 教授	朽津 和幸
	江戸川の自然環境を考える会 代表	田中 利勝
	東葛自然と文化研究所 所長	新保 國弘
自然保護団体を 代表する者	野田自然保護連合会 代表	田中 勝美
	野田自然保護連合会 幹事	柄澤 保彦
	みどりのふるさとづくり実行委員会 会長	茂木 康男
	三ツ堀里山自然園を育てる会 幹事	土屋 守
観光協会を 代表する者	野田市観光協会 会長	黒川 茂
事業者を 代表する者	ちば東葛農業協同組合 参事	染谷 幸夫
	キッコーマン株式会社 環境部長	香西 陽一郎
	イオン株式会社 環境・社会貢献・PR・IR 担当付部長	金丸 治子
	株式会社千秋社 清水公園 園長	鈴木 哲雄
関係教育機関の 職員	野田市教育委員会 二川中学校 校長	町田 常雄
	野田市教育委員会 みずき小学校 校長	梅澤 一久
公募に応じた 市民	公募	柳澤 朝江
	公募	岡田 壽

■事務局

野田市：今村繁副市長、宇田川克巳自然経済部長

みどりと水のまちづくり課：中村正則課長、勝田等課長補佐、野島真紀自然保護係長、
久保木史子主任主事、尾原諒主事補、満田和総主事補

(公財) 日本生態系協会：遠藤立、大見享子、朝見清孝、服部仁美

生物多様性の戦略・「調査員会」による自然環境調査 実施概要

1. 調査の目的

野田市の生物多様性の保全をはかるため、野田市における保全すべき主な自然拠点における動植物調査を実施することにより、野田市の生物多様性の現状における特性を把握し、過去の調査結果等と比較することで変化の把握や取組みの進捗評価、目指すべき目標や指標種、自然拠点の保全を図るための課題、必要な取組み（施策）などを明らかにするための基礎情報を得ることを目的として実施する。

また、何年後かに調査を行った際に比較分析が行えるよう、調査内容（調査対象・調査方法・調査ボリューム・調査地の範囲等）についても再現性に留意して記録を行うものとする。

2. スケジュール

2020 年 7 月	調査に関するヒアリング
8 月 25 日	調査員会の開催
9～11 月	秋季調査の実施（全分類群）
2020 年 12 月～2021 年 2 月	冬季調査の実施（鳥類、両生類※早春季）
2021 年 3～5 月	春季調査の実施（全分類群）
2021 年 4～5 月	中間とりまとめ結果の確認（歴史環境含む）
6～8 月	夏季調査の実施（全分類群）
10～11 月	最終とりまとめ結果の確認（歴史環境含む）

3. 調査対象と調査時期・調査体制

下表の分類群・時期を対象に、主として希少種（環境省及び千葉県等のレッドデータブック掲載種）、外来種（特定外来種他）、指標種（現戦略で設定している指標種）を対象に生息・生育種の種名とその確認場所、生息環境状の課題の調査・記録を行うものとする。

表 1 対象分類群・調査実施時期（案）

対象分類群 / 調査時期	春季	夏季	秋季	冬季	備 考
植物	●	●	●		
哺乳類	（任意調査）				他分類群調査員による任意による確認報告
鳥類	●	●	●	●	渡り、繁殖に留意
両生類・爬虫類	●	●	●		早春は春季に含む
魚類	●	●	●	●※	※冬季の生物多様性を高めることを視野に調査実施
昆虫類	●	●	●		
歴史	重要拠点である「江川地区」の歴史的背景に係る調査				

表2 調査体制

主とする調査対象	調査員
植物・植生	野田自然保護連合会・岩槻秀明氏 利根運河の生態系を守る会・柳澤朝江氏ほか 三ツ堀里山自然園を育てる会・土屋守氏
鳥類	野田野鳥同好会会員・田中勝美氏ほか 利根運河の生態系を守る会・紺野竹夫氏
哺乳類	※任意調査：他調査の際の確認情報（目撃・痕跡）を記録
両生類・ハ虫類	野田自然保護連合会・柄澤保彦氏 利根運河の生態系を守る会・田中利勝氏 野田昆虫談話会・柳沢勉氏ほか
魚類	
昆虫類	
歴史	利根運河の生態系を守る会・新保國弘氏

4. 調査地点

調査地点の選定については、下記の各点に留意するとともに、調査員等へのヒアリングに基づき、p 3及びp 4に示す13地点を選定した。

- 現戦略策定時に実施した 15 地点をベースに調査地点を選び、前回調査との比較により環境の変化や取組みの進捗、課題の把握を行う。
- 野田市の生物多様性を保全する上で特に重要と考えられる自然拠点を含める。
- 野田市の自然環境の特性の把握を行う上で必要と考えられる地点の抽出に留意する。
- 野田市域の一部のエリアに調査地点が偏らないよう留意する。
- 上記の観点から必要に応じ調査地点の追加についても検討を行う。

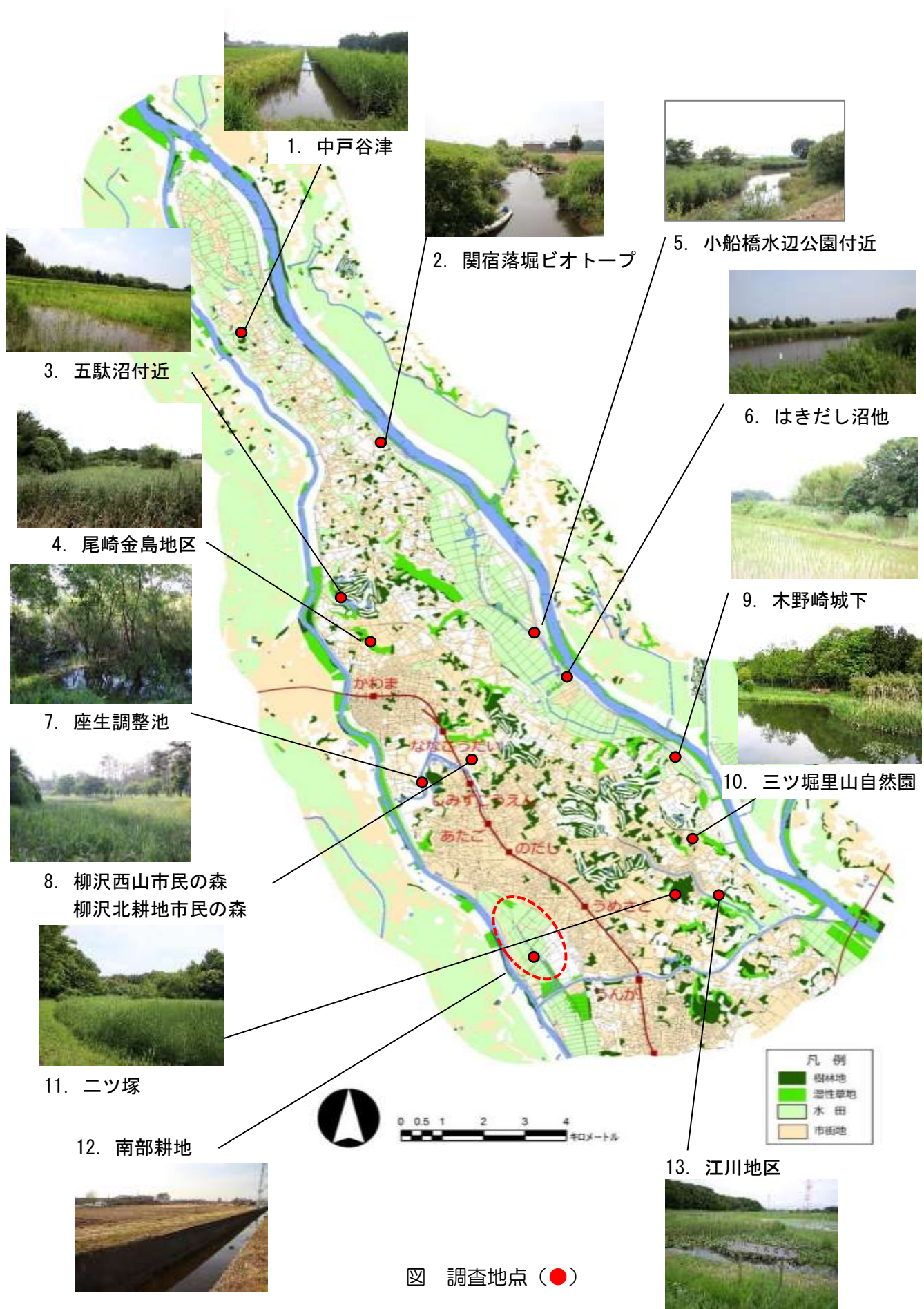


表3 今回調査を実施する調査地点一覧

No.	地点名	今回調査	前回調査	主な環境
—	関宿台町上谷中	—	●	利根川沿いの水田地帯 用水路
1	中戸谷津	●	●	野田市関宿斎場の樹林から周辺の 水田、用水路 ※植物: 関宿橋付近までの江戸川 沿いを含む
2	関宿落堀ビオトープ	●	●	ビオトープとして整備された用水路、 堤防法面(草地)、隣接する水田
3	五駄沼付近	●	●	五駄沼に流入する用水路、周辺 水田、林縁
—	阿部島～船形北谷津	—	●	耕作放棄地、用排水路
4	尾崎金島地区	●	—	尾崎谷津(湿地、斜面林、水路)
5	小船橋水辺公園付近	●	●	小船橋水辺ビオトープ付近及び周 辺水路
6	はきだし沼	●	●	沼
7	座生調整池	●	●	調節池内湿地、周辺斜面林
8	柳沢西山市民の森	●	●	樹林、樹林内湿地
	柳沢北耕地市民の森		西山のみ	樹林、隣接調節池
—	目吹中高野	—	●	放棄水田、水路、水田
9	木野崎城下	●	●	ため池、水田、用水路
—	上鹿野	—	●	草地(荒地)、放棄水田、用水路、や ぶ、竹林
—	大殿井	—	●	放棄田、土水路、斜面林
10	三ツ堀里山自然園	●	—	自然園内および隣接緑地
11	二ツ塚	●	●	湿地(休耕田)、隣接湿生林、水路、 斜面林
12	南部耕地(今上女躰神社周辺) ※鳥類のみ継続実施)	●	●	広大な水田地帯一体
13	江川地区	●	—	水田、湿地、斜面林、水路

生物多様性のだ戦略
「調査員会」による自然環境調査（2020-2021）
実施計画（案）

＜目次＞

1. 調査の目的	2
2. スケジュール	2
3. 実施内容	
(1) 調査対象と調査時期	3
(2) 調査方法	4
(3) 調査地点	6
(4) 調査結果の記録について	9
(5) 調査時の留意事項	12
4. 調査結果の提出について	
(1) 提出の体裁と提出方法	13
(2) 提出期日	13
5. その他留意事項	
(1) 保険について	14
(2) 謝礼について	14

1. 調査の目的

野田市の生物多様性の保全をはかるため、野田市における保全すべき主な自然拠点における動植物調査を実施することにより、野田市の生物多様性の現状における特性を把握し、過去の調査結果等と比較することで変化の把握や取組みの進捗評価、目指すべき目標や指標種、自然拠点の保全を図るための課題、必要な取組み（施策）などを明らかにするための基礎情報を得ることを目的として実施する。

なお、全市域・全生物を対象とした調査を実施するには時間・作業量が膨大となることから、今回は、上記の目的を戦略策定に向けて効率的に達成することができる調査対象・調査方法・調査地の選定に留意するものとする。

また、何年後かに調査を行った際に比較分析が行えるよう、調査内容（調査対象・調査方法・調査ボリューム・調査地の範囲等）についても再現性に留意して記録を行うものとする。

<調査の概要>

- 現戦略で実施した市内 15 拠点の調査地点をベースに、現状を踏まえつつ、野田市で守るべき自然の保全、生物多様性保全の観点から改めて選定した調査地点（13 地点）において、市民団体等の協力を得て春・夏・秋・冬季における動植物調査を実施する。調査にあたっては、13 の調査地点以外の調査員等からの提供情報や、河川水辺の国勢調査による江戸川・利根川・利根運河の情報も併せてとりまとめ、自然環境の変化の把握、前戦略で掲げた目標の進捗確認、生物多様性を保全・向上する上での課題の抽出などを行う。
- 野田市の自然における重要な拠点である「江川地区」について、土地改良区が保有する歴史的資料について調査を行い、現在の自然が育まれ守られてきた経緯やその過程における自然環境の変遷等を把握するとともに、今後の保全・活用方針の基礎情報とする。

2. スケジュール

2020 年 7 月	調査に関するヒアリング
8 月 25 日	調査員会の開催
9～11 月	秋季調査の実施（全分類群）
2020 年 12 月～2021 年 2 月	冬季調査の実施（鳥類、両生類※早春季）
2021 年 3～5 月	春季調査の実施（全分類群）
2021 年 4～5 月	中間とりまとめ結果の確認（歴史環境含む）
6～8 月	夏季調査の実施（全分類群）
10～11 月	最終とりまとめ結果の確認（歴史環境含む）

<関連事項>

2020 年 9 月 令和 2 年度第 1 回市民会議（書面開催予定）：自然環境調査実施計画の提示（報告）

2021 年 5 月頃 中間とりまとめ結果を市民会議で報告

12 月頃 最終とりまとめ結果を市民会議で報告

3. 実施内容

(1) 調査対象と調査時期

下表の分類群・時期を対象に、主として希少種（環境省及び千葉県等のレッドデータブック掲載種）、外来種（特定外来種他）、指標種（現戦略で設定している指標種）を対象に生息・生育種とその生息環境の確認を行うものとする。

なお、調査員が調査環境や近年の動向などを考慮して記録すべきと判断した種も記録を行うものとする。

表 対象分類群・調査実施時期（案）

対象分類群 / 調査時期	春季	夏季	秋季	冬季	備 考
植物	●	●	●		
哺乳類	(任意調査)				他分類群調査員による任意による確認報告
鳥類	●	●	●	●	渡り、繁殖に留意
両生類・爬虫類	●	●	●		早春は春季に含む
魚類	●	●	●	●※	※冬季の生物多様性を高めることを視野に調査実施
昆虫類	●	●	●		
歴史	重要拠点である「江川地区」の歴史的背景に係る調査				

表 調査体制（※詳細はp 6票「調査地点別担当」参照）

主とする調査対象	調査員
植物・植生	野田自然保護連合会・岩槻秀明氏 利根運河の生態系を守る会・柳沢朝江氏ほか 三ツ堀里山自然園を育てる会・土屋守氏
鳥類	野田野鳥同好会会員・田中勝美氏ほか 利根運河の生態系を守る会・紺野竹夫氏
哺乳類	※任意調査
両生類・爬虫類	野田自然保護連合会・柄澤保彦氏
魚類	江戸川の自然環境を考える会・田中利勝氏
昆虫類	野田昆虫談話会・柳澤勉氏ほか
歴史	東葛自然と文化研究所・新保國弘氏

※哺乳類：調査対象外とし他分類群調査時に確認（目撃・痕跡）があった場合に記録して頂く任意調査とする。

（２）調査方法

調査方法については、分類群ごとにおおよそ以下の方法が想定される。ただし、具体的な調査方法・調査範囲やルート・記録内容等の詳細については、調査員との協議・調整によって決めるものとする。

その際、前回調査との比較が可能となること、今後に向けた再現性のある調査とすることに留意するものとする。

表 分類群等の調査方法（例）

分類群	調査方法（例）
植物	目視 等
哺乳類	目視、痕跡 等
鳥類	目視、鳴き声、痕跡 等
両生類・爬虫類	目視 等
魚類	目視、タモ網による採捕 等
昆虫類	目視、見つけ取り 等
歴史	文献調査、聞き取り 等

※各分類群・調査地の特性にあった調査方法にて実施。

※野田市の自然環境の特性を把握し保全に寄与する調査として確認種リストを作成、希少種・指標種・外来種などの観点からも整理を行う。

※標本作成を目的とする調査ではないため、種特定のためなど必要性がある時以外の採取は避けるようお願い致します。特に希少種については写真撮影・目視による記録にご協力をお願い致します。

■調査記録項目

※調査票は別紙参照

- ・確認種名
- ・確認場所（希少種、外来種、特記すべき種の地図への位置記録）
- ・その他（特記事項）：群落、個体数、行動等

■調査地別担当（最終確認案） ※2020 年 8 月 2 5 日現在

№	調査者 調査地名	柳沢朝江氏　ほか※ 利根運河の生態系を守る会	岩槻秀明氏		田中勝美氏　ほか※ 野田自然保護連合会	紺野竹夫氏 利根運河の生態系を守る会	柄澤保彦氏		田中利勝氏		柳澤　勉氏　ほか※ 野田昆虫談話会	土屋　守氏 三ツ堀里山自然園を育てる会	
			野田自然保護連合会				野田自然保護連合会		江戸川の自然環境を考える 会				
1	中戸谷津		植物	昆虫	鳥				昆虫	両・爬・ 魚			
2	関宿落堀ビオトープ		植物	昆虫	鳥				昆虫	両・爬・ 魚	昆虫		
3	五駄沼付近		植	昆	両・爬・ 魚	鳥	鳥（猛禽類中心）						
4	尾崎金島地区		植物	昆虫	（メンバーにお声が け）		鳥	昆	両・爬・ 魚				
5	小船橋水辺公園		植	両・爬・ 魚	鳥						昆虫		
6	はきだし沼		植物				鳥	昆	両・爬・ 魚				
7	座生調整池				鳥			昆虫	両・爬・ 魚		昆虫	植物	
8	柳沢西山市民の森・柳沢北耕地 市民の森				鳥			昆虫	両・爬・ 魚		昆虫	植物	
9	木野崎城下	植物			鳥	鳥（猛禽類中心）		昆虫	両・爬・ 魚	昆虫	両・爬・ 魚		
10	三ツ堀里山自然園				鳥	鳥（猛禽類中心）				昆虫	両・爬・ 魚	昆虫	植物
11	二ツ塚	植物			鳥	鳥（猛禽類中心）		昆虫	両・爬・ 魚		昆虫		
12	南部耕地 ※鳥類のみの調査地とする				鳥								
13	江川地区	植物			鳥	鳥（猛禽類中心）				昆虫	両・爬・ 魚		
備考		利根運河（野田市域） も参考情報として確 認 ※調査メンバー （要確認）	・中戸谷津は関宿橋付 近まで範囲を広げて 確認 ・柳耕地の越流堤脇の 湿地		※調査メンバー （要確認）			大殿井：ホタルの発生 確認			※調査メンバー 井上雅博氏 小山　翔氏 小泉雅弘氏 石川和馬氏		

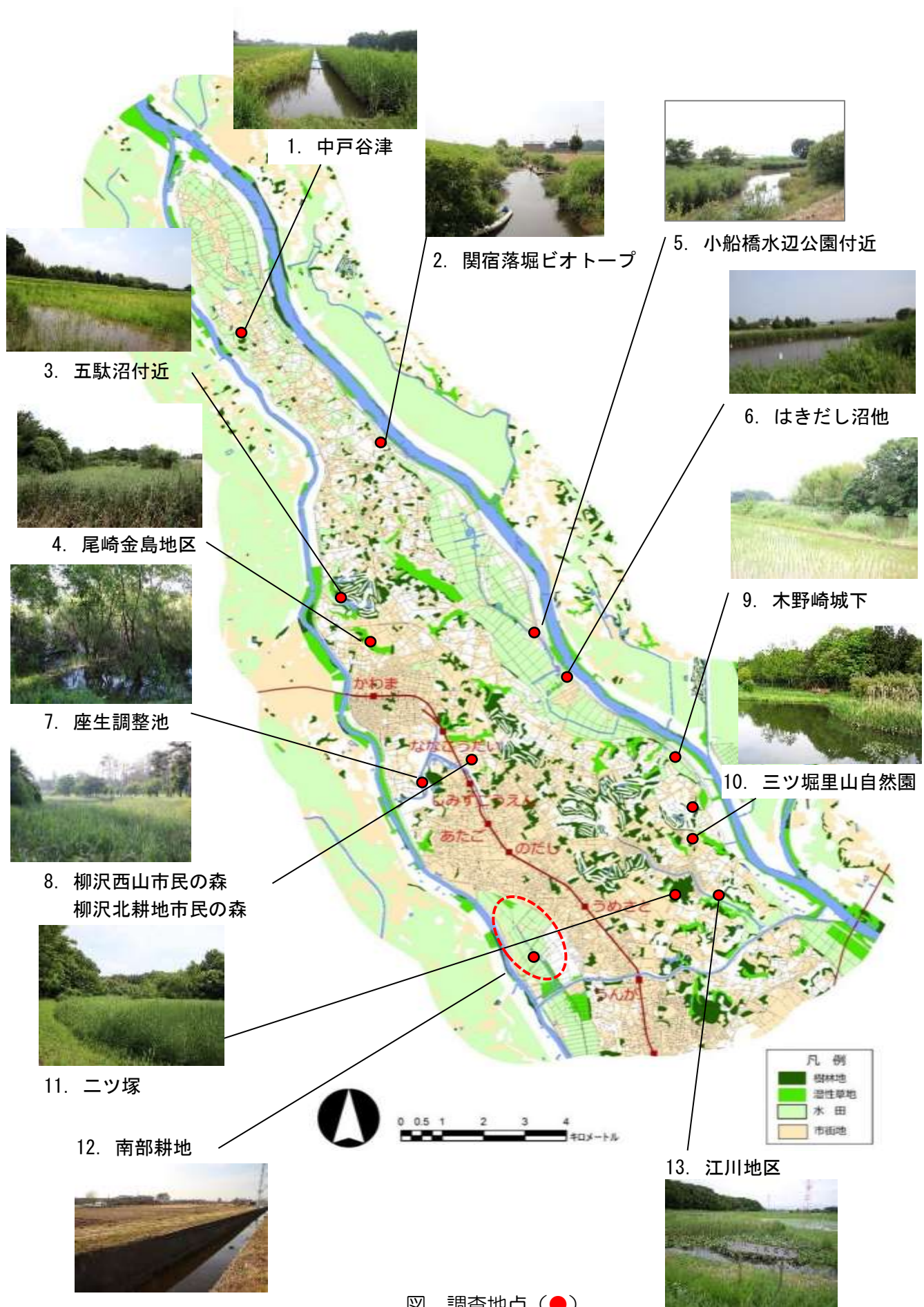
調査時期	2020 年度	2021 年度	備 考

調査対象区分	秋季	冬季	春季	夏季	
植物	●		●	●	
鳥類	●	●	●	●	
爬虫類・両生類・魚類	●	●※	●	●	※早春季の両生類調査
昆虫類	●		●	●	
哺乳類	☆	☆	☆	☆	☆他の調査時に痕跡・目撃等があった場合にご 報告いただく。

(3) 調査地点

調査地点の選定については、下記の各点に留意して再選定した。

- 現戦略策定時に実施した 15 地点をベースに調査地点を選ぶことにより、前回調査との比較により環境の変化や取組みの進捗、課題を明確にできるようにする。
- 野田市の生物多様性を保全する上で特に重要と考えられる自然拠点を含めるようにする。
- 野田市の自然環境の特性を把握すること、特徴的な自然環境（ビオトープ）のタイプが網羅されるよう留意する。その際、自然環境の良さだけでなく、野田市の生物多様性を考える上で必要と考えられる自然環境のタイプの選定にも留意する。
- 野田市域の一部のエリアに調査地点が偏らないよう留意する。（市民に身近な自然に関心を持ってもらうことに留意）
- 追加調査地点の検討・調整。（候補地：江川地区、三ツ堀里山自然園、尾崎地区）



■調査地住所

No.	調査地名	調査範囲等	住 所
1	中戸谷津	野田市関宿斎場の樹林から周辺の水田、用水路 ※植物:関宿橋付近までの江戸川沿いを含む	中戸谷津
2	関宿落堀ビオトープ	ビオトープとして整備された用水路、堤防法面(草地)、隣接する水田	木間ヶ瀬新田
3	五駄沼付近	五駄沼に流出入する用水路、周辺水田、林縁	東金野井～中里
4	尾崎金島地区	尾崎谷津(湿地、斜面林、水路)	尾崎
5	小船橋水辺公園付近	小船橋水辺ビオトープ付近及び周辺水路	小山
6	はきだし沼	沼	船形
7	座生調整池	調節池内湿地、周辺斜面林	桜の里
8	柳沢西山市民の森 柳沢北耕地市民の森	樹林、樹林内湿地 樹林、隣接調節池	柳沢
9	木野崎城下	ため池、水田、用水路	木野崎
10	三ツ堀里山自然園	自然園内および隣接緑地	三ツ堀
11	二ツ塚	湿地(休耕田)、隣接湿生林、水路、斜面林	二ツ塚
12	南部耕地	広大な水田地帯一体	今上～上花輪
13	江川地区	水田、湿地、斜面林、水路	瀬戸(飼育棟～右岸側斜面林) 三ツ堀(江川左岸側) 下三ヶ尾(江川右岸側)

(4) 調査結果の記録について

① 確認種リスト

下記のような調査票（別途配布予定）に、分類群ごと・調査日ごとに確認種の記録をお願いします。基本的には「種名」とし、ぱっと見で分かる種には雌雄や成体・幼体の別の記録をお願いします。その他、個体数や行動（上空を飛行、水田で採餌等）については、調査員が必要と判断される場合に特記事項として「備考」へ記載をお願いします。

また、各調査地点で自然環境の保全に関して気になることなどがありましたら、「調査地点の環境についての特記事項」の欄にご記入をお願いします。

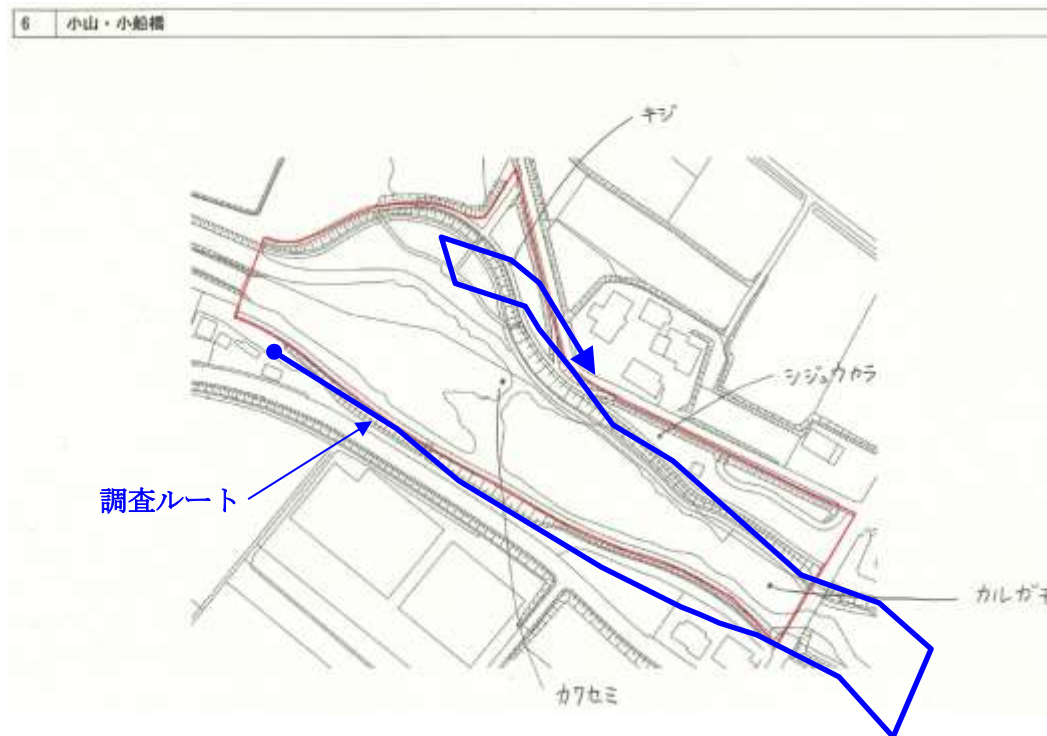
生物多様性の戦略 自然環境調査票(2020-2021)				
調査日: 月 日() 時 分～ 時 分 天候:				
調査地点:			調査者:	
調査地点の環境についての特記事項				
No.	種 名	特に記録すべき事項		
		雌雄	成長段階	(個体数・群集、個体、行動、利用環境等)
①		♂・♀	幼・成	
②		♂・♀	幼・成	
③		♂・♀	幼・成	
④		♂・♀	幼・成	
⑤		♂・♀	幼・成	
⑥		♂・♀	幼・成	
⑦		♂・♀	幼・成	
⑧		♂・♀	幼・成	
⑨		♂・♀	幼・成	
⑩		♂・♀	幼・成	
⑪		♂・♀	幼・成	
⑫		♂・♀	幼・成	
⑬		♂・♀	幼・成	
⑭		♂・♀	幼・成	
⑮		♂・♀	幼・成	
⑯		♂・♀	幼・成	
⑰		♂・♀	幼・成	
⑱		♂・♀	幼・成	
⑲		♂・♀	幼・成	
⑳		♂・♀	幼・成	

※雌雄、成長段階については分かった場合のみの記入

② 調査地図

調査地点ごとの調査地図（白図：別途配布予定）に、調査を行ったルート・場所（網を入れた場所、定点観察地点等）を赤ペン等で記入するとともに、希少種、外来種、指標種のほか調査員が必要と判断した確認種について、確認場所を記入して下さい。（記入方法は任意）

<調査地図への記録例>



種名を直接記入した例



調査票のリストNo.を記入した例

③ 写真の撮影

確認種やその生息・生育環境の写真撮影をお願いします。

調査対象によっては、写真撮影が難しい種もありますが、可能な範囲で結構ですので、ご協力をお願いします。

<目的>

- 調査結果として取りまとめるとともに、貴重な記録として市で保存・蓄積します。
- 市民が読みたくなる地域戦略づくりに活用します。
- 市民への広報へ活用します。

<こんな写真の撮影をお願いします>

- 希少種、外来種、指標種
- 普通種でも市民（特に子どもたち）に人気のある種
例：カブトムシ
- 生きものたちの生育・生息環境の写真
例：ジャコウアゲハとウマノスズクサ

※調査の様子の写真：複数人で調査に入り撮影可能な場合のみ

（５）調査時の留意事項

＜調査時に携帯するもの＞

- ・市で発行・配布する『**身分証**』を携帯し、必要に応じ提示してください。
- ・市で発行・配布する『**腕章**』を**見えるところに装備**してください。複数人数で調査する場合は、代表者１名による装備でも構いません。

＜車の駐車について＞

- ・農家さんや地域住民の迷惑にならない場所に駐車するようお願いします。
- ・座生調整池など、市の無料駐車場がある場合は、駐車場をご利用ください。
- ・正式な駐車場に停車する場合を除き、車を離れる際には、車の見えるところに『**駐車票（連絡先）**』を**表示**（下記：別途配布）して下さい。（ご自身の携帯電話番号の記入は任意）

野田市委託による

環境調査の実施中です。

【問合せ】

_____ ☎ _____

または

野田市みどりと水のまちづくり課 04-7125-1111（代）

4. 調査結果の提出について

(1) 提出の体裁と提出方法

調査結果として、調査地点ごとに前出の3点（調査リスト、調査地図、写真）の提出をお願いします。提出方法等は、各自ご都合の良い方法でお願いします。

	提出物	体 裁	提出方法
1	確認種 リスト	① データ（エクセル） または ②調査票に手書きしたもの（コピー可）	① メール添付、データ便 または ②郵送、手渡し
2	調査地図	① データ（ワード、PPT、その他） または ②調査票に手書きしたもの（コピー可）	
3	写真	① データ（推奨） または ②プリントしたもの	

※ご希望の方には確認種リストのデータ（エクセル）、調査地図のデータ（ワードに貼り付けたもの又はJPG）をお送りします。

※市役所（みどりと水のまちづくり課）に直接持参頂いてもOKです。

※データ提出先：下記「調査に係る問合せ・資料提出先」をご参照ください。

※データ容量が大きい、又は複数ファイルがあってメール添付で送れない場合は、「**データ便**：<https://www.datadeliver.net/>」をご利用ください。（500MBまで無料で送ることができます。使用方法についてはお気軽に下記までお問合せ下さい。）

※その他調査結果提出について不明点等ございましたら、上記、データ提出先担当者までお問合せ下さい。

(2) 提出期日

各シーズンごとに、担当頂く調査地点すべての調査が終了した後、そのシーズンのデータ全てをまとめてお送り頂きますようお願いいたします。

提出期日は、「**各季の最終調査日から1ヵ月以内**」を目安にお願いします。

【調査に係る問合せ・資料提出先】

（公財）日本生態系協会 担当：大見・遠藤

E-mail k_omi@ecosys.or.jp

郵送先：〒330-0802 さいたま市大宮区宮町 1-103-1YKビル 6階

電話：048-649-3860 FAX：048-649-3859

5. その他留意事項

(1) 保険について

■保険の対象と保障内容

- 対象：調査をして頂く方全員
- 保障内容：家を出てから家に帰るまで、調査のための車等での移動や調査地での調査に係るケガ等が対象となります。（途中、コンビニ等に寄られた際の事故等は対象とならないため、ご注意下さい。）熱中症は対象になりません。夏季調査では十分に休憩・水分をとりながら体調に注意なさってください。
- 死亡時及びケガによる入院、通院保障が出ますが、潤沢な保険金ではない点をご理解・ご了承頂きますようお願いいたします。

■留意事項

- 秋季調査に入る前に、一緒に調査を行う予定の方の名簿（「氏名」「住所」「連絡先（携帯または固定電話）、年齢」）の提出をお願いします。（調査員会で依頼済）
※調査実施後にご連絡頂いても保険対象とならないためご注意下さい。
※毎回必ず参加する予定の方を対象とさせていただきます。
※当該調査をするための同行に限り、見学や個人調査での同行は対象になりません。ご了承下さい。
- 調査日を事前（調査日の一週間前めど）にお知らせください
……悪天候による延期の場合：中止が決まり次第ご連絡ください
……体調等による延期の場合：決まり次第ご連絡ください
※延期日が決まったら、改めてお知らせください
- 調査時にケガ・事故が発生した場合は、安全を確保（病院を含む安全な場所への移動等）した上で、なるべく早く事務局（下記）までお知らせください

【調査実施に係る連絡先】

（公財）日本生態系協会 担当：大見・遠藤

E-mail k_omi@ecosys.or.jp

平日の連絡先：048-649-3860 FAX：048-649-3859

休日の緊急連絡先：090-1804-7663（大見携帯）

080-5175-5978（遠藤携帯）

(2) 謝礼について

- 調査員としてご協力頂く皆さまには、本当に些少で申し訳ないのですが、担当して頂く調査の対象区分、調査地点、調査回数（季節数）に応じ、交通費も含めた謝礼金をお支払いさせて頂きます。
- 調査員によって調査方法や体制が異なるため、調査に何人で入ったかを反映できない点、ご了承下さい。
- 調査地点等役割分担表に基づき、代表者の方にお支払い致します。お支払いした謝金の使い道、分け方などは各グループごとにお任せ致します。

生物多様性のだ戦略・社会環境調査（アンケート調査）

実施概要

1. 調査の目的

「生物多様性のだ戦略」の策定に向けた調査・検討の一環として、市内の全小学校5年生の児童およびその保護者等を対象とする「野田市生きものの豊かさアンケート」を実施する。

アンケートでは、市内の子どもたちの現在の自然との関わりの状況や認識、その保護者の方々の自然に対する認識やニーズについて把握すること、更には、アンケートの実施を通じて、自然や生きものについて、考えていただく機会とすることを目的として実施する。

また、何年後かに調査を行った際に比較分析が行えるよう、調査内容（調査対象・調査方法・設問等）についても再現性に留意して記録を行うものとする。

2. スケジュール（案）

2020年9月下旬まで	アンケート（設問案）の作成・確定
10月下旬頃まで	小学校との協議・協力依頼（事前手配等）
	アンケートの印刷
11月上旬	アンケートの正式依頼、配布
11月下旬 11/21～23の3連休を想定 ・児童対象：授業内 ・大人対象：宿題	アンケートの実施
11月下旬	アンケートの回収
12月上旬から2021年1月下旬まで	データ入力（回収されたものから随時）
2021年2～3月	データの集計・解析、とりまとめ
5月	市民会議で調査結果を報告

3. 実施方法

- ・市内の小学校の協力を得て、小学校5年生の児童および、その保護者等を対象としたアンケートを実施する。
- ・子供の保護者等へのアンケートは、子供がインタビューする形態をとることによって、大人の協力（回収率）を高めるとともに、子供たちにとっての環境教育効果の向上に寄与するよう留意する。

■対象：市内の小学校5年生およびその保護者等



全 20 校（5年生児童：総計 1,319 人）

- 関宿北部地区：関宿小学校
- 関宿中部地区：二川小学校、関宿中央小学校
- 関宿南部地区：木間ヶ瀬小学校
- 川間地区：川間小学校、尾崎小学校
- 北部地区：北部小学校、七光台小学校、岩木小学校
- 中央地区：中央小学校、宮崎小学校、清水台小学校、柳沢小学校
- 南部地区：南部小学校、山崎小学校、みずき小学校
- 東部地区：東部小学校
- 福田地区：福田第一小学校、福田第二小学校、二ツ塚小学校

（全校対象に実施。回収率 90%とした場合、子供用・保護者用のアンケート結果が約 1,215 通ずつ回収できる見込み。）

4. アンケート内容

- ・ 生物多様性に関する認知度を把握する。
 - ・ 市民が望む自然環境のあり方について把握する。
 - ・ 野田市の生きものの現状に関する市民の認識や情報を把握する。
- ↓
- ・ 過去の文献や現在の自然環境調査で把握できない生きもの情報を吸い上げる。
 - ・ 抽出した情報に対し世代間（子供世代・親世代・祖父母世代）、および地区間での違い（ギャップ）を把握し、戦略に反映させていく。
 - ・ 子供たちが望む遊び場や自然を『子供からのメッセージ』として戦略に記載する。
 - ・ 設問は、前回調査からの市民意識の変化を把握するため、原則として前回と同じ設問とするが、自然と共存するまちづくりのシンボルであるコウノトリに係る認識も把握できるよう留意する。

■設問（案） ①子ども用

（回答選択肢は省略）

設問の趣旨	設問
回答者属性を問う設問	①学校名
	②性別
自然の中での体験を問う設問	③自然のある場所の中で、ふだん、よく遊んでいる場所、よく行く場所はどこですか？あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。
	④外であそぶとき、どんなことをしてあそびますか？あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。
自然環境の現状に関する認識等を問う設問	⑤次の生きもののうち、家の近くや通学路、あそび場には、どんな生きものがいますか？あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。また、他にも見たことがある生きものについては「その他」に書いてください。
	⑥家の近く、または野田市内にどんな自然があったらいいな、と思いますか？今ある自然もふくめて、あてはまるものすべてに、○をつけてください。
野田市の自然環境の将来像を問う設問	⑦10年後、どんな生きものが野田市内でふえるといいな、と思いますか？あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。また、他にも増えてほしい生きものについては「その他」に書いてください。
	⑧10年後、野田市の自然や生きものがどうなったらいいと思いますか？また、野田市の自然や生きものについて気になっていることがありますか？あなたの思うことを自由に下のスペースに書いてください。
自然を守るための取組みへの意向を問う設問	⑨自然やたくさんの生きものを守っていくために、今、自分ができると・したいと思う事は、どんなことですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。
生物多様性に関する認知度を問う設問	⑩「生物多様性（せいぶつたようせい）」という言葉を知っていますか？
	⑪地球温暖化によって、もともと野田市にはすんでいなかったような、南の地方の生きものが、野田市にすみつくようになってきているということを知っていますか？
	⑫ペットや野田市以外で捕まえてきた生きものを、外に放してはいけないということを知っていますか？

■設問（案） ②大人用

（回答選択肢は省略）

設問の趣旨	設問
回答者属性を問う設問	①あなた（インタビュアー）が通っている小学校名を書いてください
	②答えてくれる人は誰ですか？
	③年れいは何才ですか？
	④性別は？
	⑤野田市に住みはじめて何年位になりますか？
	⑥お仕事は何をしていますか？
子どもの頃の自然体験について問う設問	⑦子ども（小学生）のころ、いつもどんな場所であそんでいましたか？あてはまるものすべてを選び、番号に○をつけてください。
	⑧そこで、どんなことをしてあそびましたか？あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。
	⑨子どものころ、家の近くや通学路、遊び場には、どんな生きものがいましたか？あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。また、名前はなくても、以前見たことのある生きものについては、「その他」に書いてください。
自然環境の現状に関する認識等を問う設問	⑩現在、家の近くや周辺には、どんな生きものがいますか？見たことがあるものすべてを選び、○をつけてください。また、名前はなくても、見たことのある生きものについては、「その他」に書いてください。
	⑪家の近く、または野田市内に、どんな自然があったらよいと思いますか？今ある自然もふくめて、あてはまるものすべてに○をつけてください。
野田市の自然環境の将来像を問う設問	⑫将来、子どもや孫の世代になったとき、どんな生きものが野田市内でふえるとよいと思いますか？あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。また、名前はなくても、他にもふえてほしい生きものについては、「その他」に書いてください。
	⑬守り残していく必要があると思う野田市内の自然はどこですか？具体的な場所をおしえてください。
	⑭将来、子どもや孫の世代になったとき、野田市の自然や生きものがどうなったらいいと思いますか？また、野田市の自然や生きものについて気になっていることがありますか？
自然を守るための取組みへの意向を問う設問	⑮自然やたくさんの生きものを守っていくために、今、自分ができると・したいと思う事は、どんなことですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。
生物多様性に関する認知度を問う設問	⑯「生物多様性」という言葉を知っていますか？
大人にインタビューしての感想を問う設問	⑰みなさんが、インタビューしてみて、気づいたことは、どんなことですか？ 気づいたことなら、どんなことでもかまいません。 下の四角の中に書いてください。



野田市 生きものの豊かさアンケート



こんにちは!

野田市では、5年前につくった野田市内の生きものの豊かさを守り育てていくための計画を見直す予定です。みなさんの意見や情報を生かして、さらにより計画にするために、アンケートを行います。ご協力よろしくお願いします。



このアンケートは、次の2つのアンケートからできています。

アンケート①あなた用

あなた自身の自然に対する考えや、よく遊んでいる自然の遊び場、見たことのある生きものなどについて、教えてください。

アンケート②インタビュー用

あなたの周りにいる大人の人に、野田市の自然や生きものについて、インタビューをしてください。20才以上の人なら、お父さんやお母さん、近所のおじさんなどでもかまいません。インタビューする人を「1人」決めて、あなたがその人にアンケートの質問を伝え、答えを聞いて、マークシートに書いてください。



【アンケートの答えの書き方】

- このアンケートの回答用紙は、マークシートになっています。
- アンケートの質問に、あてはまるものをすべて選んで、○を塗りつぶしてください。
- 答えに、正解や不正解はありませんので、あなたが思ったとおりに答えてください。
- 「その他」を選ぶときは、「その他」のかっこの中に内容を書いてください。

マークの書き方の例

よい例: ● わるい例: ○ ✓ ⊗ ✗

質問の中に読めない漢字や、意味の分からない言葉があったら手をあげて先生に聞いてください。



あなたの周りにいる大人の人に、野田市の自然や生きものについて、インタビューをしてください。「1人」聞く人を決めて、アンケートの質問を聞いて、あてはまるものをすべて答えてもらい、〇をぬりつぶしてください。「その他」を選んだときは、カッコ内にその内容を書いてください。

問1

あなたのかよっている小学校の名前を教えてください。

〇 中央

〇 山崎

〇 宮崎

〇 岩木

〇 東部

〇 尾崎

〇 南部

〇 七光台

〇 北部

〇 二ツ塚

〇 川間

〇 みずき

〇 福田第一

〇 木間ヶ瀬

〇 福田第二

〇 二川

〇 清水台

〇 関宿

〇 柳沢

〇 関宿中央

問2

答えてくれる人は誰ですか？

〇 お父さん・お母さん

〇 おじいさん・おばあさん

〇 近所の方

〇 その他

問3

答えてくれる人の年れいは何才ですか？

〇 20～30才未満

〇 30～40才未満

〇 40～50才未満

〇 50～60才未満

〇 60～70才未満

〇 70才以上

問4

答えてくれる人の性別は何ですか？

〇 男性

〇 女性

〇 その他

〇 回答しない

問5

答えてくれる人は、野田市に住み始めて何年くらいになりますか？

〇 5年未満

〇 6～10年

〇 11～20年

〇 21～30年

〇 31～40年

〇 41～50年

〇 51年以上

問6

答えてくれる人のお仕事は何ですか？

〇 主婦

〇 会社員

〇 公務員

〇 自営業

〇 農業

〇 学生

〇 無職

〇 その他

問7

子ども（小学生）のころ、いつもどんな場所であそんでいましたか？

〇 公園

〇 神社・寺

〇 川・草はら

〇 田んぼ・水路

〇 あき地

〇 森や林

〇 校庭

〇 外で遊ばなかった

〇 遊ぶ場所がなかった

〇 その他

問8

そこで、どんなことをしてあそびましたか？

〇 虫とり

〇 魚とり・魚つり

〇 花つみ

〇 木のぼり

〇 水あそび

〇 鬼ごっこ・かくれんぼなどのゲーム

〇 野球やドッジボールなどのスポーツ

〇 外で遊ばない

〇 その他

問9

子どものころ、家の近くや通学路、あそび場には、どんな生きものがいましたか？

〇 ホタル

〇 カブトムシ

〇 クツワムシ

〇 メダカ

〇 ドジョウ

〇 トウキョウダルマガエル

〇 アオダイショウ

〇 ヒバリ

〇 ツバメ

〇 フクロウ

〇 コウノトリ

〇 タヌキ

〇 キツネ

〇 わからない

〇 その他

問10

現在、家の近くや周辺には、どんな生きものがいますか？見たことがあるものすべてを選び、〇をつけてください。

〇 ホタル

〇 カブトムシ

〇 クツワムシ

〇 メダカ

〇 ドジョウ

〇 トウキョウダルマガエル

〇 アオダイショウ

〇 ヒバリ

〇 ツバメ

〇 フクロウ

〇 コウノトリ

〇 タヌキ

〇 キツネ

〇 わからない

〇 その他

問11

家の近く、または野田市内にどんな自然がありますか？また、どんな自然があつたらいいな、と思いますか？

〇 バッタなどの虫とりができる原っぱ

〇 魚つりができる小川や池

〇 木のぼりができる森

〇 野草や木の多い公園

〇 谷つ（林に囲まれた谷の中の田んぼ）

〇 生きものがたくさんくる広場

〇 特に自然がほしいと思わない

〇 わからない

〇 その他

問12

将来、子どもやまごの世代になったとき、どんな生きものが野田市内でふえるといいな、と思いますか？

〇 ホタル

〇 カブトムシ

〇 クツワムシ

〇 メダカ

〇 ドジョウ

〇 トウキョウダルマガエル

〇 アオダイショウ

〇 ヒバリ

〇 ツバメ

〇 フクロウ

〇 コウノトリ

〇 タヌキ

〇 キツネ

〇 わからない

〇 その他

問13

守り残していく必要があると思う野田市内の自然はどこですか？

〇 利根川

〇 江戸川

〇 関宿落堀

〇 五駄沼

〇 目吹の池や沼

〇 座生川

〇 清水公園

〇 中央の杜

〇 木野崎遊水地

〇 三ツ堀里山公園

〇 江川地区

〇 利根運河

〇 理窓会公園

〇 その他

問14

将来、子どもやまごの世代になったとき、野田市の自然や生きものがどうなつたらいいと思いますか？

〇 自然や生きものが増えてほしい・守り残していきたい

〇 今ある自然をこれ以上減らさないでほしい

〇 野生の生きものと共にくらす必要がある

〇 身近に自然とふれ合える場所が必要である

〇 子どものためにも自然が必要である

〇 川・水をきれいにしてほしい

〇 自然のある公園・広場がほしい

〇 その他

問15

自然やたくさんの生きものを守っていくために、今、自分ができること・したいと思う事は、どんなことですか？

〇 動物や植物をとらずに、観察するだけにする

〇 みちかな自然をしらべてみる

〇 エネルギーや水、ものを大切に使う

〇 市外の動植物を市内の自然に植えたり放したりしない

〇 生きものの生息する場所（ビオトープ）をつくる

〇 自然や生きものの大切さを家族や友だちに伝える

〇 その他

問16

「生物多様性（せいぶつたようせい）」という言葉を知っていましたか？

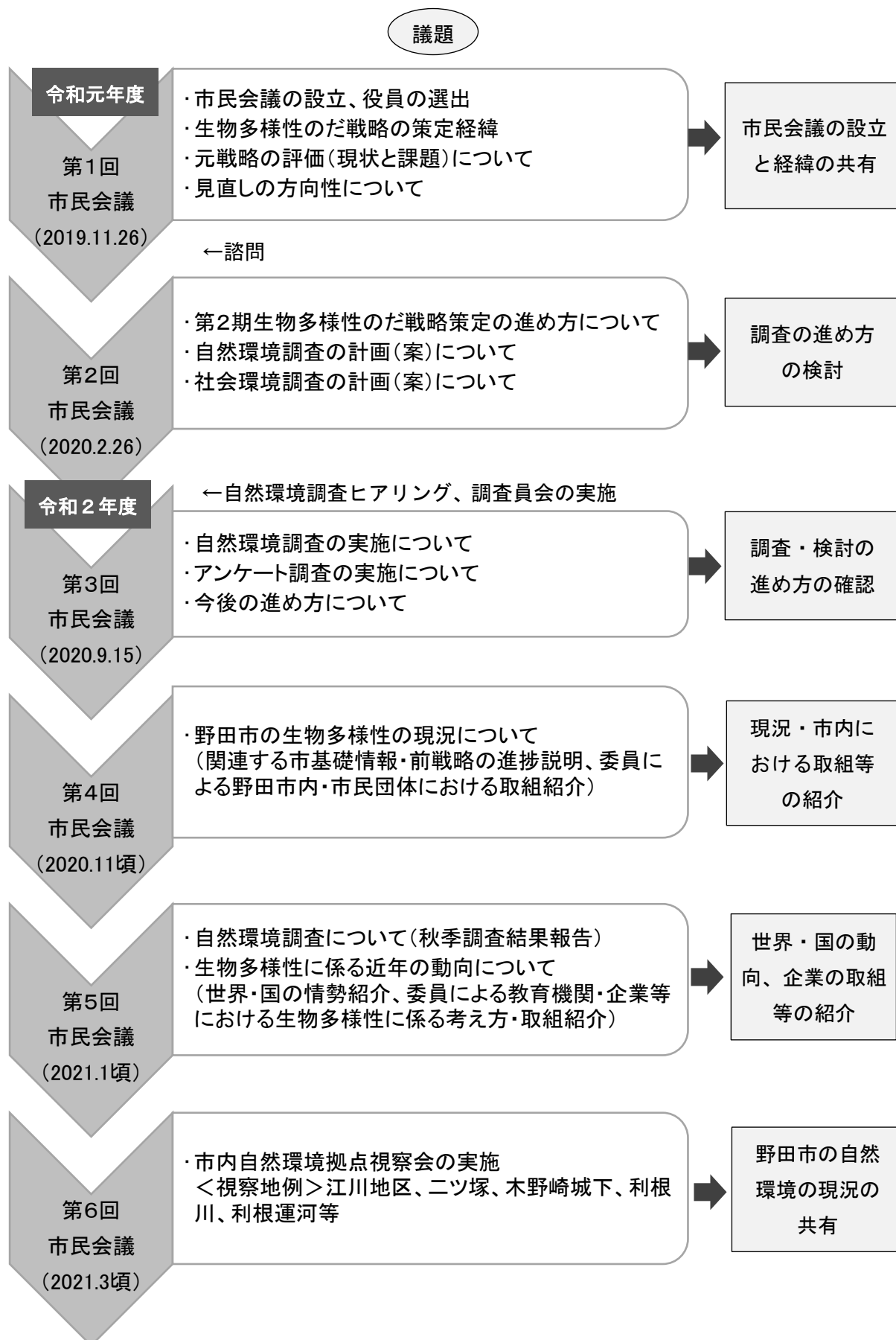
〇 意味も知っていた

〇 聞いたことはあるが、意味は知らなかった

〇 知らなかった

みなさんが、インタビューしてみて、気が付いたことや、感想を書いてください。どんなことでもかまいません。

「生物多様性のだ戦略」策定に向けた今後のスケジュール（案）





「新・生物多様性のだ戦略」の策定

生物多様性のだ戦略にかかる推進体制（イメージ）

